

2023
9月

『中秋の名月を見よう』



★今年の中秋の名月は9月29日！

2023年の中秋の名月は9月29日で満月です。佐賀県では18時11分頃昇ってきて、翌0時24分に南中し、6時47分頃沈みます。

★お月見の季節

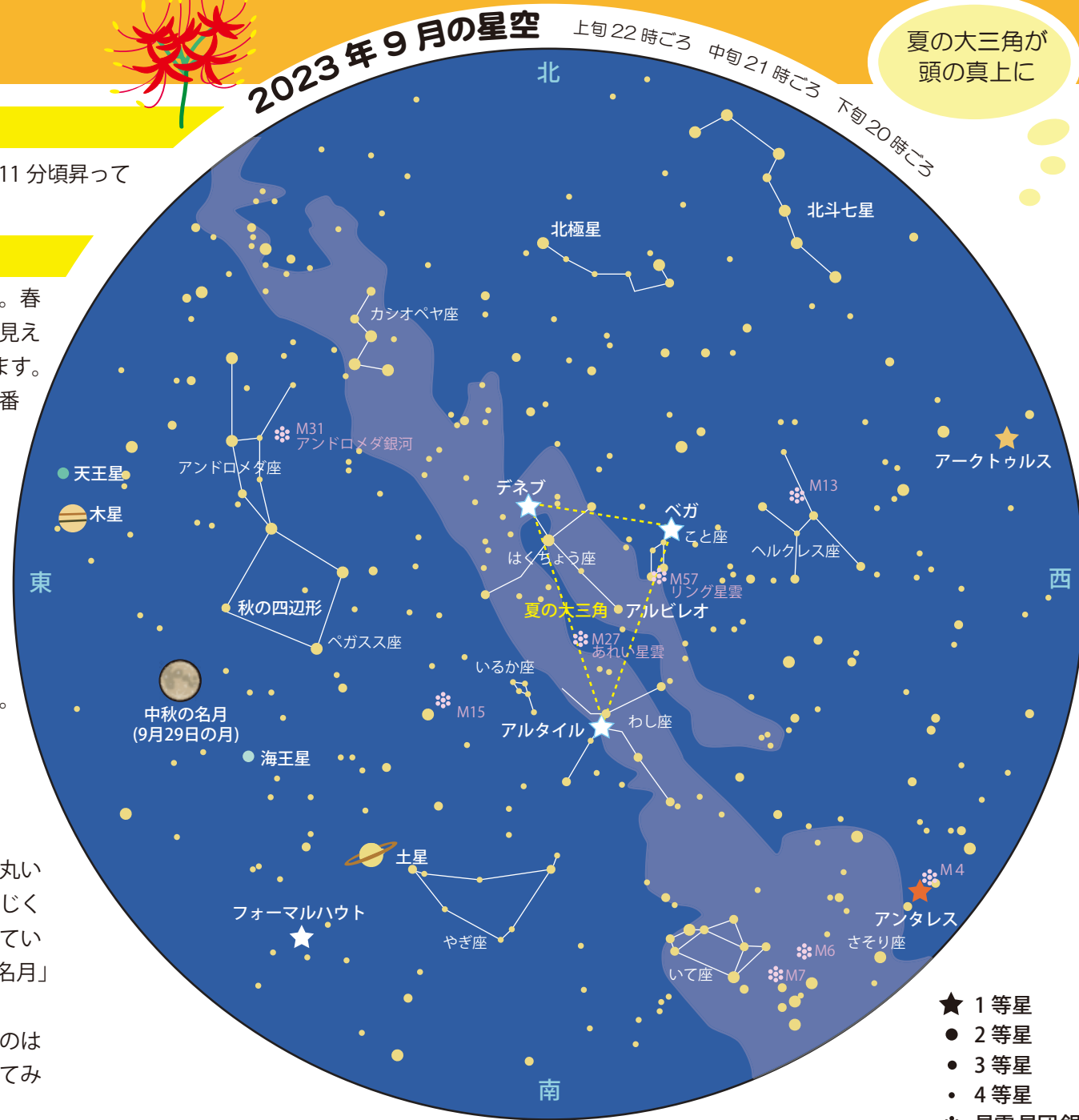
日本にお月見の文化が伝わったのは平安時代だといわれています。春は春霞という言葉通り、空気中に水蒸気や花粉が多く月はきれいに見えません。夏は月の高度が低く、大気の影響で赤っぽく揺らいで見えます。冬は寒くて月見には適していません。月を長時間眺めるには秋が一番適しているのです。そして秋の収穫のお祝いも兼ねてお月見をしていたのです。

★ 中秋の名月

月は毎日形を変える様子を肉眼で確認できるため暦として用いられていました。現在、日本では太陽の動きを基にした暦、太陽暦を用いていますが、月の満ち欠けと太陽の運行を基にした暦を太陰太陽暦（旧暦）といいます。旧暦によると春は一月から三月、夏は四月から六月、秋は七月から九月、冬は十月から十二月となります。そしてそれぞれの季節を初・仲・晩に分けて、例えば一月は初春、二月は仲春、三月は晩春という風に呼んでいました。「中秋の名月」とは旧暦の秋の真ん中、仲秋八月の十五日に見られる月のことを指します。中秋の名月が「十五夜」と呼ばれるのもこのためです。

お月見ではお団子を食べる風習があります。これは月に見立てた丸いお団子をお供えすることで月に収穫の感謝を表しているのです。同じく収穫した芋をお供えすることもあり十五夜は「芋名月」とも呼ばれています。また旧暦九月十三日の月を「十三夜」といい、こちらは「栗名月」と呼ばれています。今年の十三夜は10月27日です。

十五夜と十三夜両方見るのがお月見の作法とされ、片方だけ見るのは縁起が悪いとされたそうです。晴れていればぜひどちらの月も眺めてみてください。



夏の三大角が頭の真上に

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- ※ 星雲 星団 銀河

◆今月の天文現象

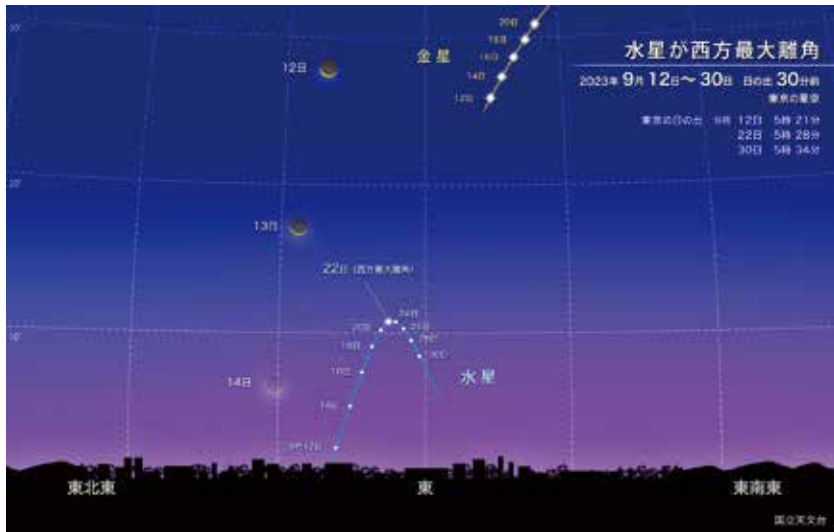
- 6日 水星が内合
- 7日 ㊦下弦の月
- 8日 白露（太陽黄経 165 度）
- 15日 ㊦新月
- 19日 金星が最大光度
- 20日 彼岸の入り
- 22日 水星が西方最大離角
- 23日 秋分（太陽黄経 180 度）
㊦上弦の月
- 29日 ㊦満月／中秋の名月

秋分とは、太陽がちょうど秋分点（地球の赤道を延長した「天の赤道」と太陽の通り道「黄道」が交差したところ。黄経 180 度）に到達した瞬間のことをいいます。

また秋分の3日前からの7日間を秋の彼岸といいます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、暑さが和らぎ、過ごしやすい季節になります。

PICK UP★天文現象

水星が西方最大離角



武雄市の日の出
9月12日 6時00分
22日 6時06分
30日 6時12分

水星は太陽系の最も内側を公転している惑星です。このため水星は見かけの位置が太陽から大きく離れることがなく、見つけやすくなる時期は太陽からの見かけの位置が離れる「最大離角」前後に限られています。

9月22日に水星は西方最大離角を迎えます。佐賀では9月20日から26日の間、日の出30分前の水星の高度が10度を超え、見つけやすくなります。またこのころの水星は明るさがマイナス1等ほどあるため、9月いっぱいは見つけやすいでしょう。

水星よりも空の高い位置には、金星がとても明るく輝いています。金星は、9月19日が最大光度（マイナス4.8等）です。水星探しとともに、明るい金星も楽しみましょう。

双眼鏡を使うと低空にある水星を探しやすくなりますが、太陽を見ないよう日の出の前には観察を終えるようにしてください。

◆土曜の夜は星をみよう

毎週土曜日夜、プラネタリウム投映と天体観望会を開催

◆サタデーナイトプラネタリウム

30分間の生解説でお送りします。天体観望会の前に星空を予習したい！

という方におすすめです。*今後の状況により変更となる場合があります

+毎週土曜日 18時～30分間（途中入場不可）。要プラネタリウム観覧料（17時55分販売終了）。



も〜っと星空散歩 9月の星空を楽しもう～中秋の名月を見よう～（9月9、16、23、30日）

季節の星座や見ごろの天体をたっぷり紹介します。

天体観望会で観望予定の天体も紹介するので予習できます。

また、そのときどきの天文現象や宇宙の話題もお届けします。

◆天体観望会

+時間：3月～9月 20時～21時30分 / 10月～2月 19時～20時30分

+観望会は無料。受付は終了時刻の30分前まで。天候不良の場合は中止。

+天体観望会のテーマ

*今後の状況により変更となる場合があります

9月 中秋の名月を見よう / 10月 秋の四辺形と秋の一つ星をみつけよう

*実施の可否は当日18時に判断しHPやTwitter、facebookでお知らせします。

また天候不良により途中で中止となる場合もあります。



◆今月の観望天体（予定）

★2日…イベントのため観望会中止

★9日…ベガ（織姫星）、アンタレス（さそり座一等星） など

★16日…ベガ、アルビレオ（はくちょう座二重星） など

★23日…土星（環の観察）、ベガ、アルビレオ など

★30日…土星、ベガ など

*水色の文字の天体は、「星みたよ！スタンプラリー」の対象天体です！

*観望天体は天候・混雑状況などにより、変更になることがあります。

・・・お知らせ・・・

★3F 宇宙発見ゾーンリニューアル工事 2023年9月8日～2024年3月下旬（予定）

3F 宇宙発見ゾーンのリニューアル工事の為、2023年9月8日（金）より展示室を閉鎖します。プラネタリウム、天文台は通常通りご覧いただけます。

★宇宙の日講演会 2023 10月7日（土）14:30～16:00

「人類が初めて見たブラックホールの姿」 講師 本間希樹氏

今年の宇宙の日講演会は、国立天文台より水沢 VLBI 観測所 所長の本間希樹氏をお招きして、不思議な天体ブラックホールについてわかりやすくお話しいたします。ブラックホールの撮影（可視化）に成功した国際プロジェクトの研究のお話も……。

対象：小学生以上 定員：先着180人 入場料：無料（レジでチケットをお渡しします）※要常設観覧料



佐賀県立 宇宙科学館
SAGA PREF. SPACE and SCIENCE MUSEUM

ゆめぎんが

〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島16351（武雄温泉保養村内）

TEL 0954-20-1666 FAX 0954-20-1620

https://www.yumeginga.jp